

話題の人

大野さんに日報文化賞

このたび、大野風柳(本名英雄 六十五歳)さんが、長年にわたる川柳の普及と啓蒙に努めた功績が認められて、新潟日報文化賞を受賞されました。



大野風柳さん

大野さんは、現在美幸町に在住。二十歳の時、新潟市に「柳都川柳社」を創設して、今年で四十五年目となります。今回の受賞については、「たまたま皆さんの目に留まっただけ。これからは川柳を通してユーモアのある人生を送りたい」と、ますます意欲をみせています。

そもそも同氏が川柳と出会ったのは、旧制三条中学四年生の時でした。友人が作った文集の編集を頼まれ、埋め草として自分でこつこつ和歌を書こうとした。しかし、和歌の最後の「七・七」がどうしても出てこないため、このまま「五・七・五」の川柳でいいこうと文集を編集。ここに、大野風柳の世界が誕生しました。以来、川柳とのかかわりは深まり、投稿すれば常時上位入選。周囲の評価はうなぎ登りとなり、温厚な人柄も手伝って、講師の依頼の数は次第に増えていきました。今では全国有数の川柳指導者として、

独自の世界を確立しています。最近、川柳は静かなブームとなつています。「五・七・五」の十七文字の世界には人間の喜怒哀楽が凝縮されたドラマが展開されている。そんなドラマと出会って約五十年、大野さんと出会って、川柳は人生の友であり、また相談相手なのかもしれない。「これから川柳魂で生きていきます」と、目を輝かせる川柳永世名人。その表情は、川柳はユーモアのある人生を送る案です」と私たちにも優しく語りかけているようでした。



世界ベテランズ陸上大会 鶴巻さんが日本新の快挙

オリンピックの金メダル走者から往年の名選手も参加して、さきごろ宮城県総合運動公園陸上競技場で第十回ベテランズ陸上大会が開かれました。新潟市からは川根の鶴巻良助さん(五十五歳)が初出場し、「百」(二百)の二種目で銀メダルを獲得するという快挙を成し遂げました。

大会には世界七十八か国から有名選手が大勢参加し、鶴巻さんは「五十五・六十歳未満」の部に出場しました。「百」では、出場選手八十人の中から日本人選手としてはただ一人決勝に進出し、優勝した豪州選手に0秒35差の24秒39(日本新)で銀メダルを獲得しました。また、百では百二十人が参加、決勝進出を果たし、一位とわずが百分の二秒差の11秒80(大会新、日本新)で二個目の銀メダルを手に入れました。なお、鶴巻さんは、ベテランズ大会に先立って八月に行われた第十三回マスターズ陸上兼都市対抗陸上の百で11秒5の世界新を出しています。

鶴巻さんの記録で素晴らしいことは、若いときより記録が伸びていることです。陸上を始めたのは中学二年生。二十歳の時に百、11秒7の記録で県代表として全国青年大会に出場した経歴を持っていますが、その後四十三歳まで陸上競技を中断、再びトラックに姿を見せたのは、市民陸上競技大会でした。「まだ走れるという自信が、また陸上にかりたてました」という鶴巻

巻さんは、これを機に日頃の鍛錬に明け暮れました。昭和六十年から始まったマスターズ陸上に九回連続出場。これまで百に六回、二百でも七回の優勝を果たしてきました。

数々の賞にも、「皆さんの支援のおかげです」と奢りはありません。ベテランズ大会では、大会前に腰を痛め、どうしようかと迷っていたとき、稲刈りの体験学習で知り合った新潟付属小学校の五年生の助ましが「出場」を決心させたということです。

冬場、外で走れないときも、室内でフォームを固める独自の練習方法を考案するなど、陸上に対するひたむきな姿勢が今回の快挙を生んだといっても過言ではありません。

心して！ 飲んだら乗らない約束を

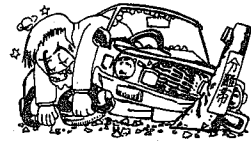
11日～31日 年末の交通事故防止運動

今年も残すところあとひと月となりました。例年この時期は、年末のあわただしさに伴う交通の混雑、忘年会などによる飲酒運転の増加、さらに積雪など道路事情の悪化により交通事故が多発します。

十二月十一日から三十一日まで、「年末の交通事故防止運動」が実施されます。この機会に、

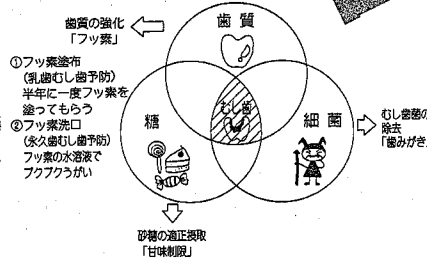
家族ぐるみで飲酒運転を追究しよう

年末は、お酒を飲む機会が多くなります。昨年県内では、飲酒事故で二十七人がなくなっており、年代別では四十代が十人



子どもの虫歯は当たり前、と考えていませんか。そう思わざるを得ないくらい、多くの子どもたちの歯はむしばまれていきます。

むし歯の原因と予防



子どもの歯を大切に

フッ素洗口で丈夫な歯を

ちがかる病気があったら、風邪と虫歯くらいではないでしょうか。しかし、風邪は治りますが、虫歯は一度なったら治りません。

虫歯の治療にかかる時間、費用、そして何と言っても、その苦痛はお父さん、お母さんが経験されています。

質の強化の三つあります。フッ素の安全性、有効性については、保護者の方々が特に心配される点ですが、フッ素は自然の中にある必須栄養素であり、私たちが食べる食物の中に必ずといっていいほど含まれていいます。また現在では、多くの歯磨

剤の中にも含まれています。さらに虫歯予防のためのフッ素利用については、学問的にすでに安全性、有効性が十分確立されており、WHO(世界保健機構)をはじめとする各専門機関、専門団体が推奨しています。

今や虫歯は予防の時代。新潟市では、子どもの歯の健康を守るため、この三つの予防ポイントをおさえた対策を家庭・学校、地域一体で取り組んでいきたいと考えています。

なお、虫歯予防についてのお問い合わせは、保健課保健係(内線133)で受け付けています。

お買物、ご用命は市内で

お買物、ご用命は市内で

第33回
宝石展示会
野本
12月1日(水)～12月5日(日)
〒956 新潟市本町3丁目8-4 TEL.(0250)22-0070(代)

安心 ネットワーク
有限会社 樋口保険企画
☎(0250)22-6774
〒956 新潟市金沢町3丁目7番20号
ファクシミリ (0250) 24-9110

安心を ネットワークする 安田火災海上 東邦生命保険
JAF Alico アリコ ジャパン ORIX オートリース

水まわりの 増改築専門店
水と住まいのぬれ渡り **シス・トップ かねみや**
INAX
本町2丁目1-11 ☎24-1630

お客様の夢♥かなえます!!
浴室 キッチン トイレ……
見直してみませんか。
見積り無料 お気軽にご来店ください